

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義	
科 目 名		嚥下障害		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		60 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時間		前期 月曜2,3,4限		教室名		4校舎301	
担 当 教 員		澤 美菜子、酒井 崇		実務経験とその関連資格		急性期病院、がんセンター、在宅療養支援診療所に勤務(澤 美菜子)					
《授業科目における学習内容》											
摂食嚥下障害に関する基礎知識を習得し、評価・訓練について学ぶ。成人患者の臨床に対応できることを目指す。											
《成績評価の方法と基準》											
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」 その他適宜参考資料 ビデオ等											
《授業外における学習方法》											
授業終了後に教科書、配布資料を各自で復習すること。											
《履修に当たっての留意点》											
質問を歓迎します。疑問は共有して全員で学習しましょう。											
授業の方法			内 容				使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下の仕組みについて現在の言葉でまとめ、説明できる				パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト				
		各コマにおける授業予定	嚥下について考える、障害について考える								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	誤嚥性肺炎について理解し説明できる				パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	誤嚥性肺炎の発症機序								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下に関わる身体の構造を理解し説明できる				パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	嚥下に関わる骨と筋肉①								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下に関わる身体の構造を理解し説明できる				パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	嚥下に関わる骨と筋肉②								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下に関わる身体の構造を理解し説明できる				パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	嚥下に関わる骨と筋肉③								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器官の仕組みと働きを理解する	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔器官の仕組みと働き①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器官の仕組みと働きを理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	解剖について別途紙面で実施するため授業で学んだところは都度復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔器官の仕組みと働き②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下のメカニズムを理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の5期モデル、プロセスモデル		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	咽頭・喉頭の解剖生理を理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	主観的評価①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下の神経機構について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	主観的評価②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の評価について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	他覚的検査(VFやVE検査について)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の評価について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	食形態や地域連携について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下機能検査について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	間接的嚥下訓練		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下訓練について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	直接的嚥下訓練		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下訓練について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター、摂食嚥下障害学テキスト	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	VF動画を見て評価～問題点抽出～訓練考案を行う		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	嚥下障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 月曜2,3,4限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	澤 美菜子、酒井 崇	実務経験とその関連資格	急性期病院、がんセンター、在宅療養支援診療所に勤務(澤 美菜子)			
《授業科目における学習内容》						
摂食嚥下障害に関する基礎知識を習得し、評価・訓練について学ぶ。成人患者の臨床に対応できることを目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」 その他適宜参考資料 ビデオ等						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に教科書、配布資料を各自で復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
質問を歓迎します。疑問は共有して全員で学習しましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を通して摂食嚥下障害のリハビリテーションについて検討できる		パソコン・プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	症例提示、感想文			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	誤嚥性肺炎について理解し説明できる		パソコン・プロジェクター	
		各コマにおける授業予定	Ⅰ 誤嚥性肺炎について Ⅱ 経管栄養の特徴 Ⅲ 気道上皮の線毛運動について			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害による摂食嚥下障害について理解し説明できる(1)		パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Ⅰ 脳血管障害の概要 Ⅱ 偽性球麻痺の嚥下障害			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害による摂食嚥下障害について理解し説明できる(2)		パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Ⅲ 球麻痺の嚥下障害			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経・筋疾患による摂食嚥下障害について理解し説明できる		パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Ⅰ 神経・筋疾患の概要 Ⅱ 主な疾患			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	悪性腫瘍による摂食嚥下障害について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 悪性腫瘍の概要 II 頭頸部がんの嚥下障害とリハビリテーション III 補綴装置について		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の手術治療と気管切開について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 嚥下機能改善手術 II 誤嚥防止手術 III 気管切開とカニューレの種類について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の評価(1):摂食嚥下障害の評価について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 評価の目的と流れ II スクリーニングテスト		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔・咽頭の解剖を理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔・咽頭の解剖について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の評価(2):VF,VE,その他の検査法について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I VF II VE III その他の検査法		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下リハビリテーション:(1)間接的嚥下訓練について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 間接(的)嚥下訓練(基礎的嚥下訓練)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下リハビリテーション:(2)直接的嚥下訓練について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	II 直接(的)嚥下訓練(摂食訓練)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の評価、訓練の進め方について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ケーススタディ		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢・廃用・認知症患者の摂食嚥下障害について理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 加齢・廃用と摂食嚥下障害 II 認知症と摂食嚥下障害		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養・脱水・口腔ケアについて理解し説明できる	パソコン・プロジェクター	前回までの授業内容を復習し、理解しておくこと。
		各コマにおける授業予定	I 嚥下障害と栄養障害の関係について II 脱水について III 嚥下障害と口腔ケア		